

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
「拠点病院集中型から地域連携を重視したHIV診療体制の構築を目標にした研究」
平成30年度 分担研究報告書

【研究分担課題】 歯科領域におけるHIV診療体制の現状
研究分担者：丹沢秀樹（千葉大学大学院医学研究院 口腔科学 教授）

研究要旨

歯科領域におけるHIV診療体制の現状を把握し、地域拠点病院、かかりつけ歯科医における歯科診療体制の課題を調査する。

A．研究目的

歯科診療体制の構築が滞っていることを鑑み、千葉大学医学部附属病院の歯科口腔外科の関連施設での歯科診療体制を構築する。並行して、千葉県歯科医師会へ歯科診療体制の課題を調査する。

B．研究方法

アンケート調査。

C．研究結果

HIV感染患者の歯科治療を受け入れている施設は85%であり、ほとんどの施設で診療をおこなっていた。しかし、診療設備やスタッフの更新・拡充を求める意見があり、受け入れる側の体制が充実していないことがわかった。さらに地域との連携が整っていないことがわかった。パイロット研究としては、歯科診療を実施するには、単科での体制構築には限界があり、病院としての支援体制が必要。千葉県医師会に対しては、アンケート調査の説明を行い、協力を得ている。

D．考察

HIV感染患者の歯科治療を受け入れている施設がほとんどであったが、受け入れる施設側のハード面とソフト面で十分に整っていないことがアンケート調査でわかった。エイズ患者の治療について理解を浸透させ、協力歯科医院においても歯科医療診療体制の構築が必要と考えられた。

E．結論

歯科診療体制の構築は、各地域で課題になっている。千葉県内の課題を抽出し、地域の診療体制構築を目指す。

G．研究発表

なし

H．知的財産権の出願・登録状況

なし